

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		市庁舎整備事業						予算事業名		市庁舎建設事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				02	01	15	11	経常経費								
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)							事業の区分		主要事業					
		5-3情報化社会に対応した行政体制づくり (市民生活・行政・情報														
		①行政サービスの充実							担当課係等		契約管財課					
		3市庁舎の整備推進									新庁舎建設推進室					
事業期間		継続 (平成28年度～令和 2年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
まちづくりを担う市民や市議会, 行政がお互いに情報を共有・発信ができ, また, 市民の利便性が高く, 災害時にも安全な市民生活を支えらるとともに本市のシンボルとして誇れる庁舎を整備する。								現本庁舎は, 老朽化や耐震性の不足, バリアフリー化への未対応, 災害時の防災拠点機能などに課題があり, 平成24年度から検討を行い結城市庁舎基本構想により新庁舎整備の方針が示され, 平成27年度に策定した結城市庁舎整備基本計画に基づき事業を進めている。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
H30～R02: 工事, 監理委託 R02: 工事完了 庁舎移転								来庁者, 職員								
								【事業をとりまく環境の変化】 建設資材の高騰や, 作業員の不足などに伴う建設価格の上昇が続いており, 計画する事業費内での執行が懸念される。								
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】								

■事業費

		R01年度		R02年度				
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0	
	県		支	出	金	0	0	
	地		方		債	1,828,700	870,500	
	そ		の		他	1,607,000	395,000	
	一		般	財	源	0	46,511	
歳 入 計 (千 円)		3,435,700		1,312,011				
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)		金額 (千円)			
	07	報償費	182		92			
	08	旅費	111		0			
	10	需用費	13		1,185			
	11	役務費	854		894			
	12	委託料	58,898		29,676			
	13	使用料及び賃借料	7,404		5,991			
	14	工事請負費	3,368,157		1,087,456			
	17	備品購入費	0		186,717			
	21	補償補填及び賠償金	81		0			
歳 出 計 (千 円) (A)		3,435,700		1,312,011				
伸 び 率 (%)				-61.81				
備 考	総合計画後期基本計画 1 4 1 ページ 予算書 5 1 ページ							

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	業務契約手続き（主要な委託）	回	目標	2.00	2.00	0.00
	R01 工事監理費支援 2 移転計画 R02 引越業務 竣工式典 転		実績	2.00	0.00	0.00
	工事契約手続き（主要な工事）	回	目標	2.00	1.00	0.00
	R01 外構整備 本体工事変更 R02 備品購入		実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	事業の進捗（基本設計、実施設計、工事、移転）	%	目標	80.00	100.00	0.00
			実績	80.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	現庁舎においては庁舎機能の分散、施設の老朽化、防災拠点機能、等の課題があり、市民の安全安心な生活を守るため防災活動拠点となり、利便性が高く市のシンボルとして誇れる庁舎整備が求められている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が主体となり整備する施設である。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的な方法で設計委託及び工事契約を行い事業を進める。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	基本計画の範囲で事業費を抑える。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全ての市民に対し、行政サービスの向上と防災対策が図られる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	市民や職員が使いやすく快適な庁舎となるよう、工事仕上、什器レイアウトにおいて詳細を検討する。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画工程通り完成に向けて庁舎本体工事が進んでおり、外構、付帯工事等の施設整備に着手している。また、移転に向けて引越し、その他運用面での準備がにとりかかっている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
庁舎整備基本計画で定めたスケジュールや事業費に従い順調に庁舎整備が進み、令和2年度中の庁舎移転に向けたハード整備が進んでいる。今後、移転開庁に向けた機能整備、施設管理等の運用について関係部署と密な調整を行い、新庁舎の供用開始を迎えたい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
市民職員に親しまれる新庁舎となるよう、事業の最終段階において、整備内容の確認調整を行う。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 令和2年度の新庁舎整備完了、移転に向けて工事監督及び移転準備を行う事。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	